

6月議会 日本共産党の一般質問

CO₂排出ゼロへの施策の拡充を



細野りゅう子市議

細野りゅう子市議は、地球温暖化に歯止めをかけるために、市に再生可能エネルギーや省エネルギー推進策を求めました。市は7月から、家庭用燃料電池（エネファーム）助成を行うと答弁、太陽光など再生可能エネルギーをもっと拡充して、2030年までのCO₂をさらに削減するよう求めました。また、南地域の交通不便地域の公共交通手段確保のために相談があれば説明、支援を行うよう求めました。南1小の建て替え時、南中の敷地内に予定される仮設校舎は小学生に合わせた施設整備や専用の校庭を確保することを確認しました。

芹ヶ谷パークミュージアム計画は市民参加で再検討を



殿村健一市議は、芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム計画の「一体的整備」について、市民の理解を得られていない計画は白紙に戻し、市民、専門家で再検討せよと質問。担当部長は、市民への説明機会を広げると言いながら市長が説明する予定はなく、同整備事業は進めると答弁。博物館存続を求めた質問については、国際工芸美術館への美術品の引継ぎが完了次第、博物館を解体、借地は返却すると答弁。本町田小学校のとなりに開店した店舗周辺の交通安全対策を求めた質問に、道路部長は、他の店舗を参考に、必要な場合には警察と協議、店舗に申し入れると答弁しました。

無料法律相談

9月14日(水)・28日(水)
10月12日(水)・26日(水)

要予約 ☎ 042-723-6312まで

※場所が変更になる場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします 724-4030(会派室)

どうぞ
お気軽に

毎月第2、第4水曜日
午後14時～17時

町田市役所3階
共産党会派室

「起立性調節障害」の子どもたちへの適切な対応を



田中美穂市議

田中美穂市議は、思春期に起こりやすい「起立性調節障害」について、症状が重く学校に行きたくても行けない児童生徒がいる。学校側が病気を正しく理解し、丁寧に対応をすることを求めました。学校教育部長は、タブレットの活用や教員への理解促進を行うと答弁しました。生活保護制度の周知についてポスターの掲示やホームページの改善を求めて質問。地域福祉部長は、ポスター作成は考えていない、ホームページの改善は研究すると答弁。田中市議いまこそ周知の工夫が必要だと求めました。

インボイスは中止を求めよ



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、若年層へのコロナワクチン接種率の引き上げ対策と、医療関係者やケア労働者には年齢制限なく4回目接種を行うよう求めました。また10月実施の消費税インボイス制度が、市内免税業者の多くに影響あるとするならば、国に中止を求めるべきと質しました。「市民センター等の未来ビジョン」の具体化については、「人と人がつながる地域のコミュニティの核となるよう、市民の意見を聞きながら検討していく」と市民部長が答えました。

共産党
提出

「児童手当の所得制限撤廃を求める意見書」 賛成多数で可決

議案・請願・意見書	共産党	クラブ まちだ市民	公明党	民主党	自由 つくる会 をれる 町田選ばれる 会	無所属	諸派	議決結果
2022年度一般会計補正予算	×	○	○	○	○	△	○	可決
リニア・トンネル工事について市民の安全・安心を求める請願	○	○	×	×	×	×	△	不採択
南つくし野小学校の存続を求める請願	○	×	×	×	×	○	×	不採択
芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業について(仮称)国際工芸美術館整備及び国際版画美術館との一体的整備について協議する場を求める請願	○	○	×	×	×	○	△	不採択
児童手当の所得制限撤廃を求める意見書	◎	○	○	×	×	○	△	可決

◎提出 ○全員賛成 △一部賛成 ×全員反対

市長の施政方針に代表質疑

石阪市長5期目の施政方針について、市長選の争点になった学校統廃合計画や、災害時の市の役割、多摩都市モノレール採算性など9項目について、日本共産党市議団を代表して細野りゅう子市議が質疑を行いました。

小中学校統廃合計画の見直しを

細野市議は、町田市の新たな学校づくり推進計画は、3分の1の学校を削減するもので大きな負担を強いことになるが、子どもの利益を考えたのか、また、子どもにやさしいまちといえるのかと質疑しました。市長は、「今後子どもが減っていく中で学校運営を円滑に進めるために、3～4学級の適正規模の学校が望ましい。安全対策、人間関係の配慮を行う。」と答弁しました。しかし、通学距離や安全、地域環境などの子どもの負担軽減は根本的に解決できず、学校存続を求める市民の請願は後を絶ちません。統廃合計画は見直すべきです。

中学校給食は安全安心な直営の給食センターに

細野市議は、市民の願いにこたえてスタートする中学校の全員給食を提供する給食センターについて、「施設整備、管理、運営をすべて民間企業が行うPFI手法で、小学校給食と同じように質の高い給食を提供できるのか」と質疑しました。市長は、「市は発注者の立場から、民間事業者に対してサービス水準を要求していく。品質は確保できる。」と答弁しました。PFIになれば、町田市のかかわりは後退して、責任もあいまいになります。安心、安全な、質の高い給食を引き続き求めていきます。

市民の声を聞いて芹ヶ谷公園“芸術の杜”整備計画は見直しを

細野市議は、芹ヶ谷公園“芸術の杜”一体的整備計画について、これまでの経緯を見ても、市民に対し、説明が尽くされていない。反対の声も多く、再検討すべきだがどうかと質疑しました。市長は、「博物館を閉館して、ガラス工芸品を引き継ぐ美術館が市民から求められている。地域住民、関係諸団体と理解を深めながら、事業は進めていく。」と答弁。再度今後、市民にどのように説明し、声を聞くのか質疑しましたが、文化スポーツ部長が市長と同様の答弁を繰り返すだけで、市民に対して丁寧に説明し、声を聞く姿勢は見られませんでした。

9月議会の日程 (8/29～9/30)

8/29	本会議
9/1～7	一般質問
9/8	本会議(質疑)
9/9.12	総務・健康福祉常任委員会
9/13.14	文教・建設常任委員会
9/30	本会議(表決)